

- 問1 メキシコで生産される自動車の約28%を日本系企業が占め、生産された自動車の約69%がアメリカ合衆国へ販売されている現状があります。また、アメリカ合衆国が輸入する自動車の関税率は日本からが2.5%、メキシコからが0%です。これらの状況から読み取れる内容として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. メキシコで生産された自動車は関税率が高いため、アメリカ合衆国ではなく主に日本へ販売されている。

2. 日本企業は日本国内への逆輸入を目的として、メキシコでの自動車生産の割合を高めている。

3. アメリカ合衆国は関税率が高いメキシコからの輸入を減らし、日本からの輸入を増やしている。

4. 日本企業は関税のかからないメキシコで生産することで、アメリカ合衆国へ有利に自動車を販売している。
- 問2 2013年の統計において、輸出総額が2,422億ドルにのぼるブラジルの輸出構造について、正しい説明はどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石や大豆といった原料・食料だけでなく、機械類や自動車などの工業製品も幅広く輸出している。

2. 原油と石油製品の輸出額が全体の約98%を占めており、世界有数の石油モノカルチャー経済となっている。

3. 国内に鉱産資源が乏しいため、輸出は肉類や大豆などの農畜産物に完全に特化している。

4. 工業化が遅れているため、輸出のほとんどをコーヒー豆とサトウキビの2品目のみに頼っている。
- 問3 15年間で総人口が約72,000人から66,500人へと減少する一方で、65歳以上の人口が12,000人から21,000人へと大幅に増加している都市があります。この都市において、総合病院の向かいや大型商業施設の徒歩圏内に鉄道の新駅を設置する主な狙いとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 市街地の拡大を防ぐために、あえて公共交通機関の利便性を下げて住民を郊外の農村部へと分散させる。

2. 高齢者の生活利便性を高めるとともに、住みやすい環境を整えることで新たな住民の流入による人口増加を促す。

3. 財政状況が非常に豊かであるため、利用者の多寡にかかわらず市内全域の公共施設を均等に新設・改修する。

4. 若年層の人口が急増している状況に対応するため、通勤・通学による公共交通機関の混雑を緩和させる。
- 問4 アメリカ合衆国の人口構成の変化において、ヒスパニックと呼ばれる人々の特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. アジア各国からの移民とその子孫で、IT産業などが盛んな西海岸地区に多く居住している。

2. 先住民民族とその子孫で、特定の居留地を中心に生活しており、伝統的な文化を保持している。

3. ヨーロッパからの初期の移民とその子孫で、英語を話し、政治や経済の中心を担ってきた。

4. メキシコや中央アメリカなどからの移民とその子孫で、主にスペイン語を話し、増加傾向にある。
- 問5 日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 関東地方

2. 東北地方

3. 九州地方

4. 近畿地方
- 問6 第二次世界大戦前の国際情勢において、日本を中央に配置し、日本を取り囲むようにアメリカ、イギリス、中国、オランダの4か国が包囲網を敷いている状況を示す説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本が日独伊三国同盟を解消することを条件に、4か国が日本に経済援助を行う合意がなされた。

2. 日本が国際連盟への復帰を求めた際、4か国がその加盟条件として軍縮を求めた対日要求である。

3. 日本がソ連と協力してアジア全域を統治しようとしたため、民主主義諸国が軍事的な攻撃を開始した。

4. 日本が中国進出を強めたことで、資源の輸出を制限し日本の行動を抑え込もうとする経済的な封鎖が行われた。
- 問7 1929年にニューヨークの株式市場で株価が暴落したことをきっかけに始まった世界恐慌は、当時の日本の経済にも深刻な影響を与えました。この世界恐慌および日本における昭和恐慌が発生した時期を、日本の歴史的出来事の流れに沿って説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 明治維新による近代化が進められていた1860年代から、日清戦争後の1900年ごろまでの時期

2. 日英同盟が結ばれた1900年ごろから、第一次世界大戦中に日本が対華21カ条要求を出した1915年ごろまでの時期

3. 第一次世界大戦による好景気が落ち着いた1915年以降から、第二次世界大戦を経て日本が独立を回復する1950年ごろまでの時期

4. 朝鮮戦争による特需景気が始まった1950年ごろから、大阪万博が開催された1970年までの時期
- 問8 19世紀半ば、イギリスが清（中国）に勝利したアヘン戦争の結果は、日本を含む東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。この戦争が日本に与えた歴史的な影響として最も適切な説明は、次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。

2. イギリスと協力してロシアの南下を防ぐため、日英同盟を締結する直接のきっかけとなった。

3. 清の支配力が強まったことで、日本は清への朝貢貿易を拡大させる方針をとった。

4. アメリカ合衆国の仲介により、日本は清とともにヨーロッパ諸国との不平等条約を改正した。
- 問9 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものとして正しいものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために将軍直属の密偵としての役割を担った。

2. 将軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。

3. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。

4. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
- 問10 世界の大陸別気候帯（熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯・寒帯）の面積割合を示した統計において、乾燥帯が約57.2%と最も高く、次いで温帯が約25.9%、熱帯が約16.9%となっている大陸があります。この大陸の自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 大陸の中央部から西部にかけて広大な砂漠や草原が広がっている

2. 大陸の大部分が寒帯に属しており、一年中氷河や雪に覆われている

3. 大陸の面積の6割以上を熱帯が占め、赤道付近には広大な熱帯雨林がある

4. 冷帯が大陸面積の4割以上を占め、冬の寒さが非常に厳しい
- 問11 日本とフィリピンの間で締結されている「経済連携協定（EPA）」について、貿易や経済協力の観点からフィリピン側が得られる利点を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本企業の現地進出が促進されることで、フィリピン国内において新たな雇用の創出が期待できる。

2. 日本へのバナナの輸出にかかる関税が大幅に引き上げられ、輸出額あたりの利益を増やすことができる。

3. 日本への看護師・介護福祉士候補者の送り出しを停止し、国内の医療体制を強化できる。

4. 日本からの輸入品に対して高い関税をかけることが認められ、フィリピン国内の製造業を保護できる。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本企業は関税のかからないメキシコで生産することで、アメリカ合衆国へ有利に自動車を販売している。	日本から直接アメリカ合衆国へ自動車を輸出する場合には2.5%の関税がかかりますが、メキシコを経由することで0%の関税率が適用されます。日本の企業はこの条件を活用し、メキシコで生産した自動車の大部分を巨大市場であるアメリカ合衆国へ販売しています。
問2	答え 1 鉄鉱石や大豆といった原料・食料だけでなく、機械類や自動車などの工業製品も幅広く輸出している。	ブラジルは南アメリカ州の中でも経済規模が大きく、輸出品目も多岐にわたります。鉄鉱石（13.4%）や大豆（9.4%）といった資源・農産物に加え、機械類、肉類、自動車、原油などを分散して輸出しているのが特徴です。これは、特定の資源にのみ依存する国々と比較して、産業のバランスが取れていることを示しています。
問3	答え 2 高齢者の生活利便性を高めるとともに、住みやすい環境を整えることで新たな住民の流入による人口増加を促す。	日本の多くの地方都市では、総人口が減少する一方で高齢者人口の割合が高まる「少子高齢化」に直面しています。生活に必要な病院や商業施設の近くに駅を新設することは、自家用車の運転が困難になる高齢者の移動手段を確保し、生活の質（利便性）を向上させる重要な施策です。また、交通の便が良いエリアを整備することで、子育て世代などの新たな住民を呼び込み、地域全体の活性化や人口減少の抑制につなげる目的があります。
問4	答え 4 メキシコや中央アメリカなどからの移民とその子孫で、主にスペイン語を話し、増加傾向にある。	ヒスパニックは、メキシコや中央アメリカなどのラテンアメリカ地域からアメリカ合衆国へ移住してきた人々やその子孫を指します。主にスペイン語を話し、近年のアメリカ合衆国において急速に人口割合を高めているグループの一つです。
問5	答え 2 東北地方	日本の「穀倉地帯」と呼ばれる東北地方は、広大な平野を活用した稲作が盛んです。農業産出額の構成において、全国平均と比較しても米の占める割合が高いのが最大の特徴です。一方で、九州地方は畜産の割合が、関東地方は近郊農業の影響で野菜の割合が高くなる傾向にあります。
問6	答え 4 日本が中国進出を強めたことで、資源の輸出を制限し日本の行動を抑え込もうとする経済的な封鎖が行われた。	ABCD包囲網は、日本の軍事的な拡大を経済面から抑制することを目的としていました。特に石油などの資源を海外に依存していた日本にとって、この経済封鎖は国家の存亡に関わる深刻な打撃となりました。日本はこの状況を打破するために「自存自衛」を掲げ、南方へ進出して資源を確保しようとし、太平洋戦争へとつながる大きな要因となりました。
問7	答え 3 第一次世界大戦による好景気が落ち着いた1915年以降から、第二次世界大戦を経て日本が独立を回復する1950年ごろまでの時期	1929年に発生した世界恐慌は、第一次世界大戦（1914年～1918年）後の国際経済が不安定な中で起こりました。日本ではこの影響を受けて1930年から昭和恐慌が発生し、経済が混乱して軍部の台頭を招く要因の一つとなりました。この時期は、第一次世界大戦期の好景気（1915年～）と、第二次世界大戦後のサンフランシスコ平和条約による独立回復（1951年調印・1952年発効）の間に位置します。
問8	答え 1 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。	アヘン戦争において、当時大国と考えられていた清が近代的な軍力を持つイギリスに敗北した事実は、江戸時代の日本に強い危機感を与えました。これにより、従来の異国船打払令を緩めて燃料や食料を与える薪水給与令を出す一方で、沿岸警備の強化や西洋式の軍事技術の導入など、外国の侵略に備える動きが本格化しました。
問9	答え 3 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。	室町幕府は、足利尊氏が各地の有力武士を「守護」として認めることで成立した組織であり、将軍独裁ではなく守護大名の連合体としての側面を強く持っていました。そのため、中央政治においても特定の有力守護（細川・斯波・畠山）が「管領」を交代で務めることで、有力者同士のバランスを取りながら政治を運営する仕組みが取られていました。
問10	答え 1 大陸の中央部から西部にかけて広大な砂漠や草原が広がっている	統計に示された「乾燥帯が面積の半分以上（約57.2%）を占める」という特徴は、オーストラリア大陸に該当します。この大陸は、緯度や気圧配置の関係から上昇気流が発生しにくく、大陸の中央部から西部にかけてグレートサンディ砂漠やヴィクトリア砂漠などの広大な砂漠が形成されており、その周辺には乾燥に強い草が生える草原が広がっています。
問11	答え 1 日本企業の現地進出が促進されることで、フィリピン国内において新たな雇用の創出が期待できる。	経済連携協定（EPA）は、特定の国や地域の間で、関税の撤廃といった貿易の自由化だけでなく、投資の促進や人的資源の移動、知的財産の保護など、幅広い分野で協力し経済関係を強化する協定です。フィリピンにとっては、日本企業の進出による雇用の創出や、日本へのバナナ輸出における関税撤廃、日本での看護・介護知識の習得支援などが大きな利点となっています。